

岡田昭人著「人生 100 年時代の教養が身に付くオックスフォードの学び方」朝日文庫、朝日新聞出版 2019 年 1 月 30 日刊を読む

「ポジティブ郷」に入れ！

1. はじめに

- (1) OXON の文化やそれを取り巻く街全体には、一種独特の雰囲気があります。中世風の建造物、ガウンを身にまとう教授や学生、時の音を告げる鐘の音、すべてが日本の日常とかけ離れています。そんな場所にほとんど前準備なしに飛び込んだ私は、実際に留学当初の半年で心身ともに落ち込みました。今思えば OXON の持つ特殊な環境に適応できなかったのでしょう。
- (2) 特に、厳しい学業生活、毎日刻々と変化する天気や冬場の日照時間の短さ、英国の食事の合わなさはだいぶこたえました。「こんな状態が長続きするようなら、もう勉強どころのはなしではない」、と思い詰めるまでになりました。

そんなある日、授業の休み時間に普段はあまり接することのないクラスメートのグループに何気なく入ってみました。そのグループは英国人だけではなく、スペインやポルトガルなどのラテン文化諸国からの学生、また発展途上国からの学生がいました。

- (3) 彼らの会話を聞いていると、「昨日レポートが進まないの、ワインを 1 本空けて眠ったよ！」や「今週末にパーティーをやらない？」などとても陽気な話題で盛り上がっていました。またアフリカや中東の発展途上国から来ている学生は、「自分たちの国では教育制度が未発達だから、私が将来母国の文部大臣になって改革するんだ！」「英国の天気は酷いけど、自分の国の暑さに比べたらまだましなほう」など笑いながら話しています。
- (4) 私は肩の力が抜けました。自分だけが OXON の環境に不適應な人間であると思い込んでいたのでしょうか。皆といることで次第に心に余裕が出てきて、前向きな自分を取り戻すことができたのです。

2. 「ポジティブ郷」を探し出し入り込む

- (1) 家庭、学校、会社であれ必ずその中には**雰囲気**が明るくて考え方が前向きな**グループ**があると思います。そのようなグループに身を置いていると、**自然に元気が湧いてきて「よしやってみようじゃないか」という気持ち**になります。私はこのような集団を「**ポジティブ郷**」と名付けています。「ポジティブ郷」は次の特徴があります。

- ①オープンで来る者拒まずである
- ②話し声が大きく笑顔が絶えない
- ③考え方が前向きで将来に明確なビジョンがある
- ④エネルギッシュで行動力がある
- ⑤他者の悪口や愚痴を言わない

- (2) ①では、こうした集団を見つけ、とけ込むにはどのようにすればいいのでしょうか。

まずはよく動き回って周囲を観察することです。ただ一人で考え込んだり、机の前に座ったりしては「**ポジティブ郷**」を探し出すことはできません。所属する組織だけではな

く、趣味の世界や自治体活動にも参加してみてください。

「**ポジティブ郷**」を発見したとしましょう。次にその中にどのように入り込み、振る舞ったらいいのかを考えてしまいますね。

②私は東京外国語大学で留学生と日本人学生が一緒の教室で学ぶ授業を担当しています。教室で使用する言語は英語です。ハキハキと発言し、何にでも積極的な姿勢の留学生と比べると、日本人学生はとてもおとなしい印象があります。

③こうした授業を初めて受ける日本人学生は、最初の数回の授業はほとんど何もできません。ですが、留学生と一緒にいるだけで、彼らの話し方、発言のタイミング、ユニークな意見などを学び、最終的に同じように行動していきます。

よって「**ポジティブ郷**」にとけ込むためには以下のことが大切でしょう。

(3)①<集団に身を置くことから>

無理に会話に入り込もうとはせず、ただその場にいることから始めましょう。同じ場を共有することだけで次第になじんできます。

②<自分と他者の比較をやめる>

集団の中で自信を持ったり失ったりするのは、自分と他者を比較しているからです。自分らしく自然に振る舞ってください。

③<共通する話題を見つける>

仕事の内容、研究テーマ、趣味など、自分の得意とする話題に入る。

④<成功 2 : 失敗 1 で考える>

ポジティブなグループに入ることができたのかどうか、成功と失敗が 2 : 1 の割合くらいでイメージするとよいでしょう。

3. ネガティブな集団に入ってしまったら

(1) 実社会ではすべてのグループが「**ポジティブ郷**」であるとは限りませんし、正反対なグループもあると思います。ネガティブな考え方を持つ傾向にある組織や集団にいと、自分まで暗い気分になってしまいます。

(2) もしそのような集団に入らざるを得なくなった場合には、他者の言動を気にせず自信をつけるような努力をしましょう。たとえば、目一杯仕事に取り組む、誰よりも早く入社する、自分が率先して皆が嫌がる仕事をするなどが効果的です。

(3) 本章でとり上げている「**冒険力**」ですが、一人では冒険することが怖い、不安だと思いがちですが、勇気を与えてくれる「**ポジティブ郷**」の仲間たちとなら一緒に思い切って実行できると思います。もし、「**ポジティブ郷**なんてどこにもない」と思ってしまうなら、あなた自身がそうしたグループを作りだしてみてもいいでしょう。

P208 ~ 212

<コメント>

オックスフォード大学で学び、東京外国語大学教授をおつとめの岡田先生の異文化の中での学び方、過ごし方。日本でも外国でも、新しい環境で学び、仕事をし、活動する際の心構えとして「**ポジティブ郷に入れ**」は参考になります。御熟読ください。

2019年9月4日

林 明 夫